



平成29年11月 1日

各位

上場会社名 株式会社 あじかん  
 代表者名 代表取締役社長 足利 恵一  
 (コード番号: 2907 東証第二部)  
 問合せ先 常務取締役 樋口 研治  
 業務推進本部長  
 (TEL: 082-277-7010)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はございません。

記

## 1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	20,100	350	300	150	19円71銭
今回修正予想(B)	20,600	500	550	350	45円99銭
増減額(B)-(A)	500	150	250	200	
増減率(%)	2.5	42.9	83.3	133.3	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	19,776	765	531	281	36円98銭

(2) 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	42,200	1,000	1,050	550	72円26銭
今回修正予想(B)	43,000	1,150	1,200	650	85円40銭
増減額(B)-(A)	800	150	150	100	
増減率(%)	1.9	15.0	14.3	18.2	
(ご参考)前期実績(平成29年3月期)	40,935	1,629	1,779	1,101	144円66銭

(3) 平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	20,000	300	150	19円71銭
今回修正予想(B)	20,500	500	300	39円42銭
増減額(B)-(A)	500	200	150	
増減率(%)	2.5	66.7	100.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	19,672	482	254	33円49銭

(4) 平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	42,000	1,000	500	65円69銭
今回修正予想(B)	42,700	1,150	600	78円83銭
増減額(B)－(A)	700	150	100	
増減率(%)	1.7	15.0	20.0	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	40,681	1,695	987	129円78銭

## 2. 修正の理由

平成30年3月期第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の連結および個別の業績につきましては、売上高は、販売・価格競争が厳しさを増すなか、主に厚焼玉子を中心とした玉子焼類や焙煎ごぼう茶などの自社工場製造製品に加え、冷凍・冷蔵食品を中心とした仕入品の需要が拡大し、当初予想を上回る見込みとなりました。

また、利益面でも、売上高の拡大に伴う販売利益の増加や、生産稼働率の向上に伴う原価低減に加え、主要原材料価格や為替相場が前年並みではあるものの、想定よりも安定して推移したため、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益とも、当初予想を大きく上回る見込みとなりましたので修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、11月竣工予定のつくば工場稼働に伴う先行的な費用負担や、業績に大きな影響を与える冬場の原材料価格の動向、為替、株価、原油価格など、先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案し、前回予想を修正いたします。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上